



公民連携さらに推進

実証実験やソリューションビジネスで市の課題解決へ

市は、「公民連携プラットフォーム」を9月14日から設置する。これまで企業・大学等(以下、「事業者」という。)との連携の場としてきた「シティプロモーション推進プラットフォーム」の機能を見直し、公民連携のさらなる推進を図るもの。

新たにSDGsの推進や子育て・教育・高齢者施策等の重要課題を明示して事業者の提案を募集するとともに、案件によっては市が事業費負担することで、市内をフィールドとした実証実験やソリューションビジネスの展開による課題解決・市の魅力向上に繋げる。

★これまでの「シティプロモーション推進プラットフォーム」では、災害時のペット同行避難訓練の実施(摂南大学との連携事業)や、コロナ禍における学生の支援事業(株式会社Reviewとの連携事業)など、様々な公民連携事業を実施してきた一方で、このような取り組みが思うように増えていかないといった課題もあった。

★新たな「公民連携プラットフォーム」では、取り組みを活性化するため、市の課題を明確化して公表することで、広く提案を募集し、新たな技術・アイデアの実証実験や事業者によるソリューションビジネスの展開に繋げていく。公民連携の提案募集にあたり、市による事業費負担も見据えた提案募集を行う制度は全国的にも珍しい試み。

★提案を募集する課題は市ホームページに随時掲載していく。新たに取り組む重要課題に関する提案募集は、「こども夢基金」を活用した取り組みについて課題を設定し、年内に募集を開始する予定。

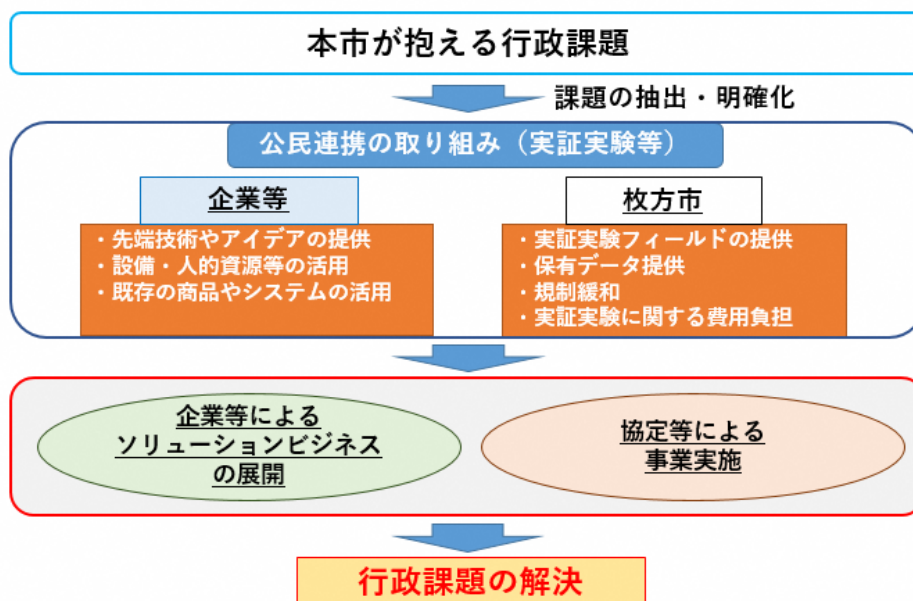
★今回の機能見直しでは、市の抱える様々な課題の解決を図っていく場として、改めて情報発信を行い、目指す役割がよりわかりやすい名称に変更する。公民連携に関する事業者からの相談・提案の窓口として機能することで、あらゆる分野の市の課題解決に向けた実証実験や新たな取り組みの試行実施等に今まで以上に積極的に繋げていく。

★市が公表した課題に対する提案のほか、事業者独自の発案についても常時受け付ける。公民連携プラットフォームを一元化した市の窓口として提案や相談を受け付け、検討・調整を進めることで円滑な連携事業の実施を図る。

★提案実施には、プラットフォームへの登録が必要。市は、公民連携の取り組みの活性化のため、広く事業者の登録を募集している。登録は、市ホームページ(<http://www.city.hirakata.osaka.jp/0000028618.html>)で常時受付。

<裏面に続く>

公民連携の取り組みイメージ



★本市の「公民連携プラットフォーム」と同様に、課題解決に向けた公民連携（官民連携）を進めるための取り組みは、様々な主体においても進められているところ。国では内閣府において「地域未来構想 20 オープンラボ」、大阪府では「大阪府公民戦略連携デスク」が設置されているほか、民間事業者においても「自治体 CONNECT」（株式会社地方創生テクノロジーラボの提供）が開設されるなど、自治体と民間企業や各分野の専門家（国においては関係省庁）のマッチングの支援が行われている。

★本市では、現在のところ、「大阪府公民戦略連携デスク」・「自治体 CONNECT」を活用して具体的な提案を受け、連携事業の検討を行っているほか、「地域未来構想 20 オープンラボ」への登録に向けて取り組みを進めている。本市の「公民連携プラットフォーム」とあわせて様々なチャネルを活用することで、課題解決に向けた公民連携を推進したいと考えている。

<お問い合わせ> 企画政策課 ☎072-841-1254、ファクス 072-841-3039